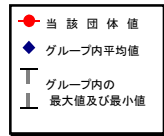


(13)-2都道府県施設類型別ストック情報分析表②

令和元年度

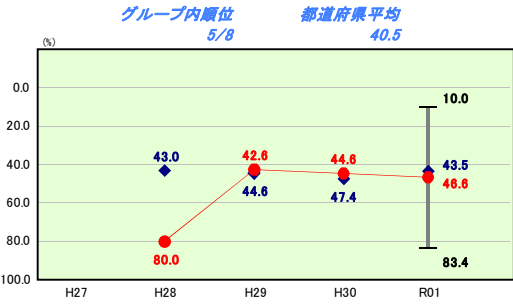
愛媛県

人口	1,369,131人 (R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,355,720人 (R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	5,676.16 km ²	実質公債費比率	10.2	%
歳入総額	638,787,137千円	将来負担比率	149.0	%
歳出総額	623,659,855千円	グループ	H27 C H28 C H29 C	
実質収支	1,889,546千円	(年度毎)	H30 C R01 C	
標準財政規模	349,948,129千円			
地方債現在高	1,026,875,931千円			

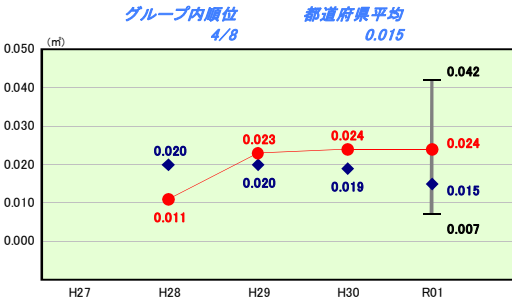


※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。
 ※ グループ関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

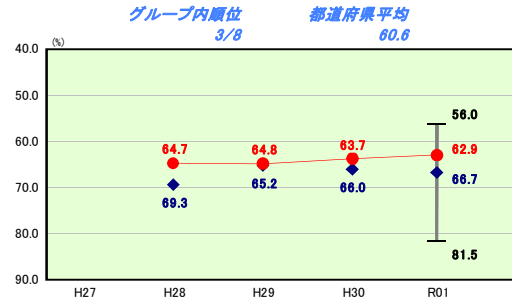
【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



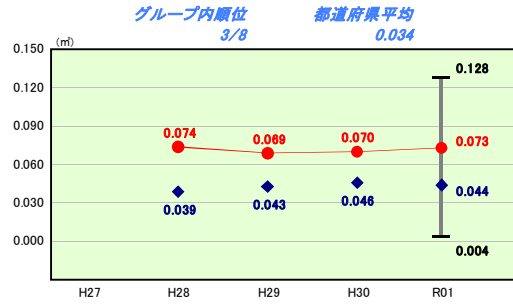
【体育館・プール】
一人当たり面積



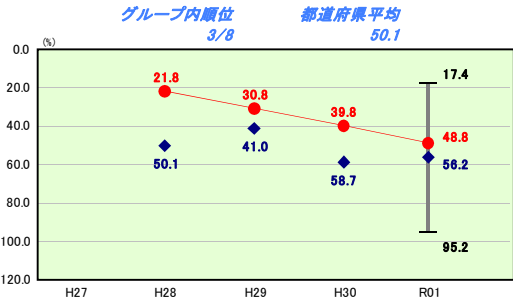
【試験研究機関】
有形固定資産減価償却率



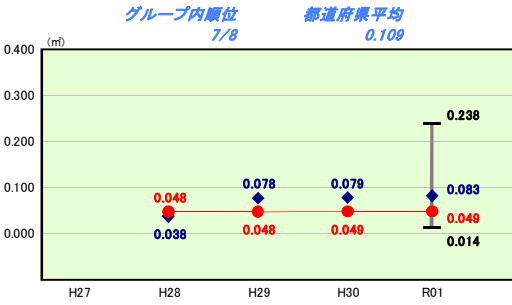
【試験研究機関】
一人当たり面積



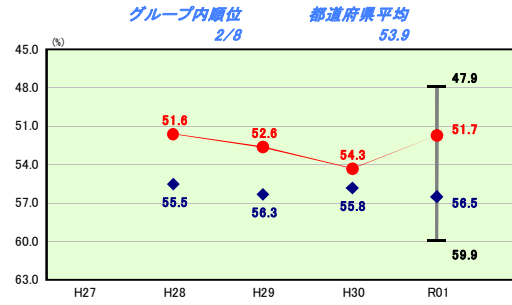
【陸上競技場・野球場・球技場】
有形固定資産減価償却率



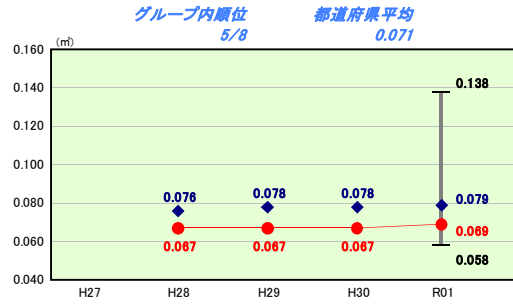
【陸上競技場・野球場・球技場】
一人当たり面積



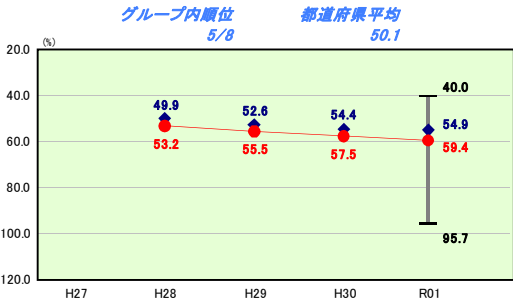
【警察施設】
有形固定資産減価償却率



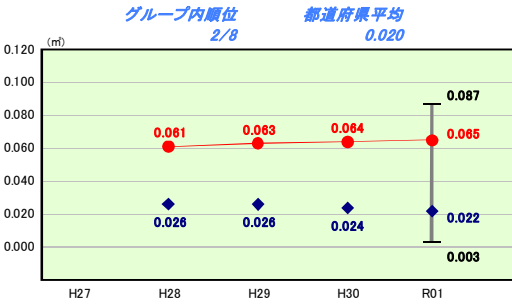
【警察施設】
一人当たり面積



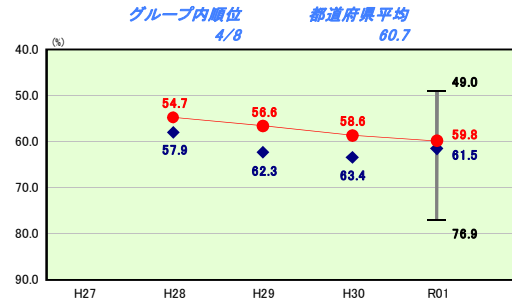
【県民会館】
有形固定資産減価償却率



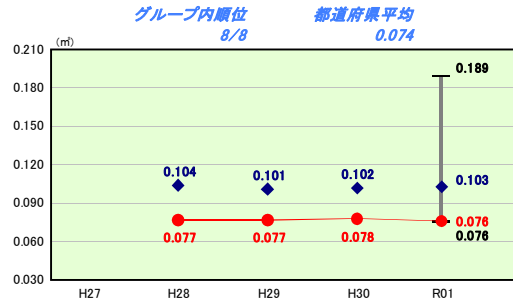
【県民会館】
一人当たり面積



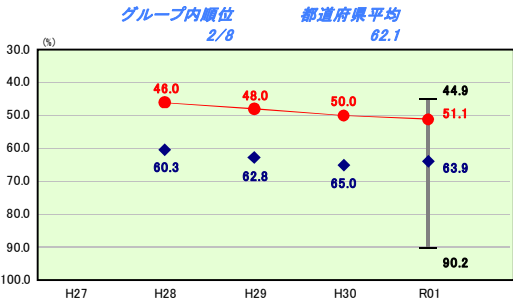
【庁舎】
有形固定資産減価償却率



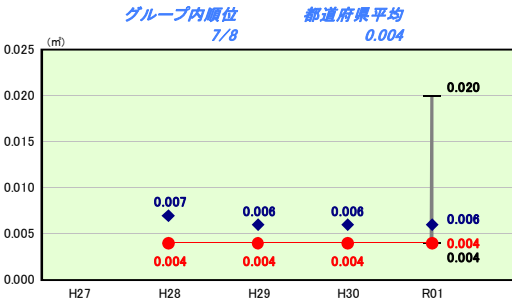
【庁舎】
一人当たり面積



【保健所】
有形固定資産減価償却率



【保健所】
一人当たり面積



施設情報の分析欄

類似団体と比較して有形固定資産減価償却率が高い施設は、体育館・プール、県民会館となっている。
 体育館・プールは、いずれも主要な設備が整備から35年以上経過し、また、県民会館4施設のうち2施設が整備から30年以上経過するなど、老朽化が進んでいる。
 一方で、有形固定資産減価償却率が特に低い施設は、陸上競技場・野球場・球技場、警察施設、保健所となっている。
 陸上競技場・野球場・球技場は、29年に開催した愛媛つなぐえひめ国体・えひめ大会の開催に向けて集中的な施設整備を実施、警察施設は元年度の警察署建替え、保健所は1990年代に庁舎の建替えが進んだことなどにより類似団体と比較して特に低い水準となっている。